

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公表番号】特表2005-505377(P2005-505377A)

【公表日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-008

【出願番号】特願2003-535646(P2003-535646)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

G 0 1 T 1/161 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/30 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 3 E

A 6 1 B 6/03 3 7 7

A 6 1 B 8/00

G 0 1 T 1/161 E

A 6 1 B 5/05 3 9 0

A 6 1 B 5/05 3 6 6

G 0 1 N 24/02 5 1 0 Y

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象となる患者のトモグラフィック画像を 1 つ以上得るための第 1 の撮像装置であり、前記第 1 の撮像装置の少なくとも一部は、前記撮像装置により画像を 1 つ以上形成する間に患者が軸方向に並進するのに通る第 1 の開口を持つ第 1 の撮像装置、

前記第 1 の撮像装置の前記第 1 の開口と略位置合わせされる患者を支持するための第 1 の患者支持構造体であり、前記第 1 の開口より下のローディング位置から前記第 1 の開口と略位置合わせされるスキャン位置へ患者を持ち上げる第 1 の患者支持構造体、

前記第 1 の患者支持構造体から患者を受け取るための前記第 1 の開口に延在する第 2 の患者支持構造体、及び

前記第 1 の開口と略位置合わせされる前記第 1 の患者支持構造体上に支持される患者を前記第 1 の開口に並進させるために、前記第 1 の開口に向かい又は前記第 1 の開口から離れるように前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体を実質的に移動させずに、前記第 1 の患者支持構造体から前記第 2 の患者支持構造体へ患者を並進させる患者位置決め装置を有する医療撮像器具。

【請求項 2】

前記患者位置決め装置は、前記第 1 の開口に向かい又は前記第 1 の開口から離れるように前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体を実質的に移動させずに、前記第 1 の患者支持構造体から前記第 2 の患者支持構造体へ前記患者を引き寄せるアクチュエータを有する請求項 1 に記載の医療撮像器具。

【請求項 3】

前記患者位置決め装置により前記第 1 の患者支持構造体から前記第 2 の患者支持構造体へ前記患者を並進させる前に、前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体を垂直方向に位置合わせするためのアクチュエータを 1 つ以上さらに含む請求項 1 又は 2 に記載の医療撮像器具。

【請求項 4】

前記患者位置決め装置は、

前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体上に患者を支持するための患者パレット、

前記患者パレットに固定されるつなぎ綱、及び

前記第 1 の患者支持構造体から前記第 2 の患者支持構造体へ前記患者パレット及び前記患者を引き寄せるための前記つなぎ綱を引き込ませる前記第 1 の患者支持構造体に対し前記第 1 の開口の逆側に固定される駆動機構を有する請求項 1 に記載の医療撮像器具。

【請求項 5】

前記第 2 の患者支持構造体は、前記第 1 の開口から、前記第 1 の患者支持構造体から離れる方向に、少なくとも患者の身長と同じくらい大きな距離を前記第 1 の開口の外側に延在し、前記患者位置決め装置は、前記第 2 の患者支持構造体の略全長を横切って前記患者を並進させる請求項 2 又は 4 に記載の医療撮像器具。

【請求項 6】

前記患者パレットは、前記つなぎ綱が前記駆動機構により引き込まれるので、前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体に沿ってスライドする請求項 4 に記載の医療撮像器具。

【請求項 7】

前記第 1 の医療撮像装置はマルチモダリティトモグラフィック撮像装置である請求項 1 に記載の医療撮像器具。

【請求項 8】

対象となる患者を受け入れるための第 1 の開口を持つ第 1 のトモグラフィック医療撮像装置、

前記対象となる患者を受け入れるための第 2 の開口を持つ第 2 のトモグラフィック医療撮像装置、

前記第 1 の撮像装置の前記第 1 の開口と略位置合わせされる患者を支持するための第 1 の患者支持構造体であり、前記第 1 の開口より下のローディング位置から前記第 1 の開口と略位置合わせされるスキャニング位置へ患者を持ち上げる第 1 の患者支持構造体、

前記第 1 の患者支持構造体から患者を受け取るための前記第 1 及び第 2 の開口に延在する第 2 の患者支持構造体、

前記第 1 及び第 2 の撮像装置の前記第 1 及び第 2 の開口を通り並進させるために前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体上に患者を支持するためのパレット、及び

前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体に沿って且つ前記第 1 及び第 2 の撮像装置の前記第 1 及び第 2 の開口を通り前記パレットをスライドするための駆動機構であって、前記第 1 の開口に向かい又は前記第 1 の開口から離れるほうに前記第 1 及び第 2 の患者支持構造体を実質的に移動させずに、前記パレットをスライドする駆動機構を有する医療撮像器具。

【請求項 9】

前記第 1 の開口と前記第 2 の開口との間の距離は介護者と前記対象となる患者との間に直接のスキンシップを可能にする請求項 8 に記載の医療撮像器具。

【請求項 10】

前記第 1 の開口と前記第 2 の開口との間の前記距離は、介護者に前記第 1 の撮像装置と前記第 2 の撮像装置との間にいる前記対象となる患者に 1 つ以上の介入アプリケーションを行うことを可能にする請求項 8 に記載の医療撮像器具。

【請求項 11】

前記第 1 の開口と前記第 2 の開口との間の前記距離は、介護者にバイオブシー手法の少

なくとも一部を前記対象となる患者に行うことを可能にする請求項10に記載の医療撮像器具。

【請求項12】

前記第1の撮像装置は、C T、M R I、X線及び超音波装置からなるグループの1つを有する請求項8に記載の医療撮像器具。

【請求項13】

前記第2の撮像装置は、S P E C T及びP E T装置からなるグループの1つを有する請求項8ないし12の何れか一項に記載の医療撮像器具。

【請求項14】

前記第1及び第2の撮像装置の前記第1及び第2の開口の軸は、略位置合わせされている請求項8に記載の医療撮像器具。